

■伊藤道郎 **ダンサー、振付師。類稀な耳学問を武器に世界の要人と渡り合った、日本人離れたコスモポリタンであった。**

いとうみちお
郡司千島探検1893＝ 東京神田三崎町で、建築家で発明家の伊藤為吉の次男に生まれる。母喜美栄。
日清戦争始・1894＝ 1歳：
日清戦争終・1895＝ 2歳：弟鉄衛が誕生。後の救世軍司令官山室軍平が伊藤家に寓居、可愛がられ、人生の師と仰ぐようになる。

八幡製鉄始・1897＝ 4歳：弟祐司が誕生。片山潜の社会事業{キングスレー館}の幼稚園へ、ただ1人の園生として入園。
子規句歌革新1898＝ 5歳：救世軍大尉になった山室軍平が神田三崎町に小隊をつくと、救世軍の伝道について回る。
Bushidou・・1899＝ 6歳：弟烹朔誕生。ばあやに連れられて、姉嘉子とともに神田三崎町界限の芝居小屋に出入りする。
ビブ国産化・1900＝ 7歳：東京高等師範附属小学校へ入学。同級生に村田実、岸田辰彌、宇野四郎がいた。

教科書疑獄・1902＝ **9歳**：妹暢子が誕生。母たちに連れられ、よく木挽町の歌舞伎座で観劇する。

日露戦争始・1904＝11歳：弟の罔夫(千田是也)が誕生。

日露戦争終・1905＝12歳：
満鉄発足・・1906＝13歳：慶応普通部へ入学。この頃より、ハーモニカ、ヴァイオリン、浄瑠璃と音楽に凝り出し、

アヲキ創刊・1908＝15歳：慶応を中退して、名古屋中学3年次に編入学するも、
伊藤博文暗殺1909＝16歳：付け文騒動のため、名古屋中にいられなくなり、帰京して攻玉社中学に編入学。
韓国併合・・1910＝17歳：4年修了で中退し、青山学院中等部に編入学。
大逆事件判決1911＝**18歳**：卒業。進路について母と齟齬あるも和解。腸チフスにかかる。
明治天皇没・1912＝19歳： **本格的に声楽の勉強を始めると、帝国劇場歌劇部へ入り、三浦環との共演でオペラ『釈迦』で初舞台。村田実らの演劇集団『とりで社』創立に参加、村田の勧めで、本物の声楽を勉強するため、ドイツに赴く。**

大正政変・・1913＝20歳：斉藤佳三の紹介で山田耕作(のち耕作)を知るも、ベルリンを去って**ライプチヒ**へ行き、マリイ・レーマンの家に寄宿。**ダルクローズ**学院祭に感激して、ドレスデン郊外ヘレウ村へ移り住み入校するも、
第一次大戦始1914＝21歳：**第1次世界大戦が勃発し、ロンドンへ避難、やがて舞踊の才能を認められ、イギリスの宰相アスキス邸でソロ・ダンスをして道が開かれ、エズラ・パウンド、ウィリアム・イエイツらの知己を得る。**

21ヶ条要求・1915＝22歳：バトロンを得て創作ダンスに取り組み、***劇場での連続公演を果たし、各紙にミチオの名が紹介される。エズラ・パウンドからフェノロサの『能』の翻訳の手伝いを頼まれ、自らも能や謡曲について学ぶ。**
民本主義・・1916＝23歳：パウンドと協力して、イエイツの代表戯曲「鷹の井戸」を完成させ、**『アメリカの興業師の招聘でニューヨークへ渡って、初めてのリサイタル公演を行ない、アメリカの劇団の『武士道』を演出。**

ロシア革命・1917＝24歳：**『武士道』はロングラン後、アメリカ東海岸を巡演、ワシントン公演には、ウィルソン大統領も臨席。**
本格政党内閣1918＝25歳：**ニューヨーク59番街にスタジオ『MICHIO ITOW'S SCHOOL』を開き、**
ベトナム条約・1919＝26歳：前年ニューヨークへ来て新曲を提供してくれた山田耕梓は帰国。
大暴落・・・1920＝**27歳**：**『レビュー・ショー』『ホワッツ・イン・ナ・ネーム』の総合演出にあたり、特に舞台美術が称賛される。**
原敬首相暗殺1921＝28歳：弟祐司が来る。**ワシントン軍縮会議に先立ち『芸術家による和平会議』案をハーディング大統領に送る。**
水平社結成・1922＝29歳：ニューヨークを訪れた高田せい子と会う。**『アール・キャロル劇場で大がかりなシビュー・ショーを演出し、**

関東大震災・1923＝30歳：前年恋仲になった教え子の1人ヘイゼル・ライトとの間に、長男ダーナル誕生し正式に結婚。
治安維持法・1925＝32歳：***インターナショナルハウスで行なわれた『日本の芝居』を総演出し、振り付けしたミュージカル『アラバスク』(ナショナル劇場)は、ニューヨーク・タイムズに『天才』と紹介される。**

円本時代始・1926＝33歳：『ゴート・ソング』(シアター・ギルド)の振り付けを担当し好評。
金融恐慌・・1927＝34歳：次男ジェラルド(ジェリー伊藤)が誕生。ビジュ・シアターにおいてオペラ『ミカド』を演出する。
世界恐慌・・1929＝**36歳**：マンハッタン・オペラハウスでの『トゥランドット』を演出後、**ニューヨークを去り、アメリカ各地を巡演興行してロサンゼルス・ハリウッドにスタジオを持ち、ローズ・ボウルでのオーケストラ・ドラマを演出。**

海軍軍縮条約1930＝37歳：前年ウォール街の大恐慌のさなか、父為吉と弟烹朔がロサンゼルスにやってくる。**『ハリウッド・ボウルで、大観客を集めてオーケストラ・ドラマを演出。美術と衣裳担当の弟烹朔ともども絶賛される。**
満洲事変・・1931＝38歳：舞踊団と家族を率いて**20年ぶりの帰国を果たし、朝日講堂、帝国ホテル等で公演後、アメリカに戻る。船中、竹久夢二、佐野碩らとの交遊が始まり、ロサンゼルスにきた夢二との親交が深くなる。**
五一五事件・1932＝39歳：夢二とともにロサンゼルス在住の日本人文人グループに接待を受けた後、夢二はヨーロッパに向かう。
帝人疑獄事件1934＝41歳：一行を連れた***メキシコ公演中、芸術的完成の領域に達したピチカットが大評判を呼ぶ。**
芥川直木賞始1935＝42歳：日系人社会との交際が強くなっていき、リトル・トーキョーのコミュニティの主要メンバーに加わる。
二二六事件・1936＝43歳：関係悪化したヘイゼル・ライトと離婚。レットランズ・ボウルでのオペラ「オルフェリオ」を演出。
日中戦争始・1937＝44歳：ハリウッド・ボウルで、近衛秀麿指揮するロサンゼルス交響楽団とオーケストラ・ドラマの演出。

健保+総動員 1938＝**45歳**：艶と再婚し、
第二次大戦始1939＝46歳：**帰国。弟千田是也と27年ぶりの再会。伊藤兄弟にティコを加えた『イトウ・レサイタル』を各地で開く。**
大政翼賛会・1940＝47歳：新協劇団から依頼を受け、築地小劇場での長田秀雄作「大仏開眼」を演出をする。この頃、**『産業界の大立て者や軍隊の幹部と会い、大金を受け取って、ロサンゼルスへ戻り、豪邸に住み変えるも、**

日米開戦・・1941＝48歳：**『日米開戦とともに、FBIに逮捕され、モンタナ州山中のキャンプミズーラへ連行され、**
・・・・・1942＝49歳：母喜美栄が死去。**『3百キ日離れたモンタナ州リビングストーンへ移送後、**
創価学会検挙1943＝50歳：父為吉が死去。艶とともに**第2次捕虜交換船のメンバーに加えられ帰国。**
年金+総武装 1944＝51歳：激化する空襲の最中、発足した大東亜舞台芸術研究所での講習会を始めるが、
敗戦・・・・1945＝52歳：解散。**『敗戦になり、柿の木坂の幼稚園を借りて、『伊藤道郎舞踊研究所]の練習再開。GHQに呼ばれ、接収されたアーニー・パイル劇場(東京宝塚劇場)の総演出兼顧問を打診され、引き受け、**

新憲法公布・1946＝53歳：次男ジェリーとの再会。**『ファンタジー・ジャポニカ』を、本国以上の演出を行なって見せ、**
新憲法施行・1947＝**54歳**：**『ラプソディー・イン・ブルー』を演出し、アメリカにも紹介される。**
極東裁判決・1948＝55歳：艶との間に亀裂。日本人キャストによる「ミカド」の上演が許可され、日比谷公会堂で上演。
三大事件・・1949＝56歳：「プリンス・イゴール」を演出。**『全日本舞踊芸術協会が結成され、初代会長に就任。**

朝鮮戦争始・1950＝57歳：山本富士子が選ばれた第1回のミス日本コンテストの演出に加わり、
独立回復・・1951＝58歳：ファッション・アドバイザーの仕事が多くなり、翌年、{伊藤道郎舞踊研究所}の関西校神戸教室を創る。
テレビ放送始・1953＝60歳：文化服装学院にモデル科を設け、本格的なファッションモデル養成に乗り出す。
自衛隊発足・1954＝61歳：モデルの安定供給で、すみれマネキン安定所所長に。**『アーニー・パイル劇場の『ラスト・ショー』を演出。**
国連加盟・・1956＝**63歳**：**『門下生たちによる舞踊劇団(MASK)を結成させ、第1回公演(俳優座)を催した。新派公演『不知火の宮』を千田と共同演出。装置は烹朔と久しぶりの3兄弟揃っての取り組みとなった。**

なべ底不況・1957＝64歳：(婦人生活)に「美しくなるための教室」連載し、名古屋で、ミュージカル・ファッションショーを演出。
インストラクター・1958＝65歳：{月刊NTV}創刊号に民放テレビ論を述べ、**『テレビタレント科を設置して、本格的な育成に乗り出す。**
美智子妃・・1959＝66歳：雪村いづみらを連れてロサンゼルスへ行き、**『アメリカでの活動も再開。NBC・TVで『これが日本の芸能だ』に企画参加後、ラスベガス・ショー出演のために56人の1行を率いてロサンゼルスに入る。**

安保闘争・・1960＝67歳：**『東京オリンピックの開・閉会式の総演出を引き受け、ローマ・オリンピックを見学。**
タイタイ病始・1961＝68歳：**『オリンピック聖火コース案を提出し新聞各紙に公表される。秋川国体に招待され開会式を見学する。精華学園の芸術鑑賞会で弟子たちの上演を見物後、不快感を訴えて帰宅、脳溢血のため没した。**

●伊藤道郎の功業と功業の功業

●伊藤道郎の功業と功業の功業

●伊藤道郎の功業と功業の功業

●伊藤道郎の功業と功業の功業

●伊藤道郎の功業と功業の功業

●伊藤道郎の功業と功業の功業